

## 第6学年西組 家庭科学習指導案

### 「目指そう 冬のほっとエコライフ」

学習指導者 山本 千穂

#### 1 学級（34名）の実態

##### （1）方法の習得を目指す自己調整力に関する実態

###### 〔諦めずに試行錯誤する力〕

家庭科の時間に、「問題や困ったことを解決するときに、工夫して解決しようとしている」と答えた子供は31人であった。しかし実際の授業では、難しいと感じると、自分で解決方法を工夫する前に周りの大人に助けを求める姿が見られる。「夏を涼しくさわやかに」の題材では、自分の解決方法をよりよい物にするために再考したり改善したりしようとする姿はあまり見られなかった。さらに題材の学習後、生活をよりよくしようと複数の方法で試行錯誤した児童は6人と少なく、生活場面に合わせて適切な方法を試行錯誤し、見付けた方法を自らの生活に取り入れていく力に課題が見られる。

##### （2）教科に関する学級の実態

夏の生活では、着方や住まい方について実験に意欲的に取り組み、袖の広さによる暑さの違いや換気による風通しの違いなどを実感した。エアコンの使い方を工夫して環境にも配慮しながら快適に過ごせるようにすることなどを学び、家庭で実践したい方法を考えたが、実生活に生かせていない子供が多かった。

#### 本題材で習得させたい「諦めずに試行錯誤する方法」

生活場面に合わせて、既習の様々な着方、住まい方を選ぶ

#### 2 本題材で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

題材の初めに冬の生活を想起し、「寒くて布団から出られない」「暖房器具を使っているが環境のことは考えていなかった」などの問題を見いだす。そして、夏の生活の学習を振り返ると共に「健康・快適」や「持続可能な社会の構築」の見方を働かせ、「快適で環境にもよい、ほっとエコライフを目指そう」と題材のゴールを設定し、そのために、「暖かい衣服の着方を見付けよう」「冬に適した住まい方を見付けよう」といった課題を設定する。そして、自分の経験や既習事項を基にその解決方法を考えていく。例えば暖かい着方では、涼しい着方と比較しながら、実験や調べ学習を通して「空気を多く含む服を着る」「重ね着をする」「開口部を減らす」など、空気の層を暖めて動かさないことが共通して大切であることに気付く。そしてコートやセーターといった服装ごとのカード（冬のアイテムカード）にその長所や短所を、空気の層、風通し、動きやすさの三つの観点でまとめる。そのカードを使って友達と交流する中で「ももこの服は空気を多く含んで暖かい空気の層ができるから、これがいいよ」「確かに空気を多く含んでいるね。だけど少し風を通す短所があるから、公園へ行くなら、風を通さないウインドブレーカーを代わりに着るともっといいと思うよ」「そうか。その時は、暑くなったら脱げるように中に重ね着をしておくのもいいね」など、生活場面に合う着方を選んでいく。住まい方についても同様に空気の層に着目する発想が大切であることや湿度の調整、換気の必要性についてまとめ、暖かい着方をすることで暖房器具の過度な使用が抑えられるなど、環境への影響も考えながら時間や天候に合わせた住まい方を選ぶ。それらを基に自分の生活に合ったほっとエコライフについて計画し、実践する。自分の実践について友達と交流して自分のほっとエコライフの取組を見直し、家庭でも試行錯誤の経験をする。カードを操作しながら、それぞれの服の素材や形から長所や短所を考えて選ぶ経験をすることで、スムーズに家庭実践につながっていくであろう。このように既習の知識を組み合わせることで考えることのよさを感じながら冬の過ごし方を学んだ子供は、家庭科で身に付けた力を家庭へつなぎながら、自分でよりよい生活を創造していけるだろう。

### 3 題材構成の工夫

#### (1) 【魅力的な目標を子供と共有】①

題材の導入で、冬の生活での問題を見いだす。その際問題を出しやすくするために、望ましくない1日の過ごし方のモデル例を用意する。また、冬の電力消費量や空気中の二酸化炭素濃度を示すグラフを提示し、冬の暖房が環境に影響を与えていることを押さえ、冬をより快適に、そして環境に配慮しながら過ごす、ほっとエコライフを送るにはどうすればよいただろうとゴールに向かう意識をもてるようにする。さらに、まず自分の力で改善しやすい着方について考え、学習した暖かい着方も取り入れながら住まい方についても考えていくという学習計画を立てる。

#### (2) 【子供が自ら選択して、学びを進める場の設定】②③⑤

自分の冬の服や冬の住まい方を手がかりに、自分なりの方法で調べる時間を設定する。自分の持っているアイテムについて、インターネットや教師が提示した動画から選んで調べたり、支援ボランティアの方にインタビューしたり、実験をしたりと自分で方法を選択して、風を通しにくい素材や空気の含有量による暖かさの違いを確かめる。確かめたことを基に自分が調べた物を持ち寄って、冬に適した着方や住まい方と、その長所や短所を冬のアイテムカードにまとめていく。



【温度変化の実験】【含気量の実験】

#### (3) 題材計画と方法の習得の段階に合わせた手立て (本時 4/7)

次	学習の流れ	手立て
一	<p>① 寒い冬の過ごし方を考えよう</p> <p>望ましくない1日のモデルや図から具体的に生活場面を想起し、「健康・快適」「持続可能な社会の構築」の視点から題材のゴールを設定する。その後ゴールの達成に向けて必要な学習を考え、課題を設定する。</p> <p>②③ 暖かい衣服の着方を見付けよう</p> <p>暖かい衣服の着方を見付け、その根拠（保温性、通気性、空気を含む量）を調べたり聞いたり実験したりして、アイテムの長所や短所をカードにまとめる。</p> <p>④ 場面に合わせた着方を考えよう</p> <p>時間や場所等に分けて具体的に生活場面を想起しながら場面に合うようにアイテムカードを組み合わせ、場面に合わせて様々な着方を使い分けることが大切であることに気付く。ほっとエコライフの計画（着方）を立てる。</p>	<p>【冬のアイテムカード】②～⑥</p> <p>認知②時間目に既習題材「夏を涼しくさわやかに」で、家庭生活の中で、夏に適した着方や住まい方について諦めずに試行錯誤するためには、既習の学びを選んで組み合わせるとよいことを学習したことを振り返る。</p> <p>④時間目には「生活場面によりぴったり合う着方を選ぶには、これまでの学びから使えそうな物を選ぶとよい」ことを伝え、冬のアイテムカードを操作しながら考えることを知らせる。</p>
二	<p>⑤ 冬に適した住まい方を確かめよう</p> <p>冬に適した住まい方のポイントを見付け、その根拠（採光の効果、換気、湿度）を調べたり聞いたり実験したりしてアイテムの長所や短所をカードにまとめる。</p> <p>⑥ 気候に合わせた住まい方を考えよう</p> <p>時間や気候に分けて具体的に生活場面を想起することにより、着方も含めた快適な住まい方の工夫をまとめ、場面に合わせて様々な住まい方を使い分けることが大切であることに気付く。ほっとエコライフの計画（住まい方）を立てる。</p>	<p>想起⑥時間目は様々な生活場面を提示した際に「生活場面によりぴったり合う住まい方を選ぶにはどうすればよいか」と問いかけ、自分たちで冬のアイテムカードを使って学習を進めていけるようにする。</p> <p>実感アイテムカードにはその長所と短所を場面ごとに書かせておくことで、場面をつないで選択しやすくしておく。場面に合わせて既習の着方や住まい方を選ぶことで、よりよい着方や住まい方を見付けることができたことを称賛する。また、そのことが家庭生活での試行錯誤にもつながっていくことを価値付ける。</p>
三	<p>⑦ ほっとエコライフの実践を報告しよう</p> <p>実践の結果をお互いに報告し合い、実践を評価・改善する。</p>	

4 本時の学習

目 標	冬に適した衣服の長所や短所をまとめたアイテムカードを操作しながら、生活場面に合わせた快適な着方を根拠をもって選ぶことができる。
--------	---

学習活動と手立て	主な子供の意識													
見 通 し	<p>1 学習課題を設定する。</p> <p>前の時間は、暖かいアイテムの長所や短所をカードにまとめたよ。 ほっとエコライフを実現するために、暖かいアイテムを組み合わせ、冬でも暖かい着方を見付けよう。アイテムを全部組み合わせると暖かそう。 もし公園に遊びに行くなら、全部着ると動きにくそうだよ。 公園や家の中など、それぞれに合う着方があると思うな。</p>													
<b>場面に合わせた着方を考えよう</b>														
行 動	<p>2 アイテムカードを使って、冬の公園に適した着方を話し合う。 【冬のアイテムカード】 (1)個人で (2)グループで (3)全体で</p> <p>3 自分の生活でしたい着方を選び、ほっとエコライフ計画を立てる。 【冬のアイテムカード】 (1)個人で (2)全体で</p>	<p>お休みで晴れた日のお昼に、公園に遊びに行くならどれがいいかな。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">マフラーを付けよう。首を温めるよ。</td> <td style="width: 33%;">動きやすいウインドブレーカーを着よう。</td> <td style="width: 33%;">シャツを着てニットを着て重ね着をしようかな。</td> </tr> <tr> <td>重ね着をするのはいいね。体を動かして暑くなったときに脱ぐこともできるよ。</td> <td>マフラーは運動するとき危ないから、ネックウォーマーにするのはどうかな。</td> <td>一番上は風を通しにくいウインドブレーカーに賛成だよ。自転車で風を受けても寒くないよ。</td> </tr> </table> <p>体を動かすことを考えると、ぴったりの服装も変わるね。</p> <p>自分の服を場面に合わせて見直そう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">私のアイテムカードには今はコートしかないけれど、公園に行くなからスウェットに、家にあるダウンジャケットを重ねたいな。</td> <td style="width: 33%;">僕は、ネックウォーマーをつけて手袋をして行こう。裏に毛が生えているウインドブレーカーを持っているから、それを着よう。</td> <td style="width: 33%;">自分が持っているアイテムカードは、ちょうど公園に行くにはぴったりの服装だったよ。長ズボンも、自分のは風を通さないから暖かいよ。</td> </tr> </table> <p>他の場面では、これでいいかな。次は違う場面でも考えてみよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">サッカーの応援は、外だけど動かないから、少し動きにくくても暖い着方をしよう。</td> <td style="width: 33%;">塾の行き帰りと犬の散歩は似ているね。セーターを着ておくと塾の中も暖かく過ごせそう。</td> <td style="width: 33%;">家の中ではコートやダウンは着ないよ。代わりに軽いフリース素材の羽織り物を着よう。</td> </tr> </table> <p>場面ごとに、合う服装が違うね。その場面に応じて、アイテムカードからぴったりなものを選んで組み合わせるといいね。</p>	マフラーを付けよう。首を温めるよ。	動きやすいウインドブレーカーを着よう。	シャツを着てニットを着て重ね着をしようかな。	重ね着をするのはいいね。体を動かして暑くなったときに脱ぐこともできるよ。	マフラーは運動するとき危ないから、ネックウォーマーにするのはどうかな。	一番上は風を通しにくいウインドブレーカーに賛成だよ。自転車で風を受けても寒くないよ。	私のアイテムカードには今はコートしかないけれど、公園に行くなからスウェットに、家にあるダウンジャケットを重ねたいな。	僕は、ネックウォーマーをつけて手袋をして行こう。裏に毛が生えているウインドブレーカーを持っているから、それを着よう。	自分が持っているアイテムカードは、ちょうど公園に行くにはぴったりの服装だったよ。長ズボンも、自分のは風を通さないから暖かいよ。	サッカーの応援は、外だけど動かないから、少し動きにくくても暖い着方をしよう。	塾の行き帰りと犬の散歩は似ているね。セーターを着ておくと塾の中も暖かく過ごせそう。	家の中ではコートやダウンは着ないよ。代わりに軽いフリース素材の羽織り物を着よう。
マフラーを付けよう。首を温めるよ。	動きやすいウインドブレーカーを着よう。	シャツを着てニットを着て重ね着をしようかな。												
重ね着をするのはいいね。体を動かして暑くなったときに脱ぐこともできるよ。	マフラーは運動するとき危ないから、ネックウォーマーにするのはどうかな。	一番上は風を通しにくいウインドブレーカーに賛成だよ。自転車で風を受けても寒くないよ。												
私のアイテムカードには今はコートしかないけれど、公園に行くなからスウェットに、家にあるダウンジャケットを重ねたいな。	僕は、ネックウォーマーをつけて手袋をして行こう。裏に毛が生えているウインドブレーカーを持っているから、それを着よう。	自分が持っているアイテムカードは、ちょうど公園に行くにはぴったりの服装だったよ。長ズボンも、自分のは風を通さないから暖かいよ。												
サッカーの応援は、外だけど動かないから、少し動きにくくても暖い着方をしよう。	塾の行き帰りと犬の散歩は似ているね。セーターを着ておくと塾の中も暖かく過ごせそう。	家の中ではコートやダウンは着ないよ。代わりに軽いフリース素材の羽織り物を着よう。												
振 り 返 り	<p>4 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>アイテムカードを選んだり組み合わせたりして考えると、選んだ場面どれを着ようか考えやすかったよ。 家でも、持っている服を場面に合わせて組み合わせよう。</p> <p>風通しや空気の層のことを考えて、アイテムカードを比べながら選ぶとぴったりの服装が選べたよ。</p>													

評 価	アイテムカードを操作し、場面により適した着方を選んでいる。また、アイテムカードを使って、既習の知識を組み合わせることのよさを感じている。  <div style="text-align: right;">【方法：発言、様相、記述】</div>
--------	---

## 5 本時の詳細

### ～見通し～ **学習活動1**

「快適で環境にもよいほっとエコライフを目指そう」という題材のゴールを位置付けた学習計画を学習支援アプリで示し、子供と共有しておく。そして、大型モニターに映した学習計画や、前時に調べて分かったことの掲示、自分たちの見付けているアイテムの長所や短所などを基に、前時までの学習を振り返る。その際、前時に見付けた暖かい着方を全て取り入れると最も暖かく快適に過ごせるのではないかと投げかけ、「それでは動きにくい」「暖かい物を全て使えばよいわけではない」ということに気付かせるとともに、「公園に遊びに行く場合はどうか」と問うことで「場面に合う服を選ぶ必要がある」ということに気付かせる。ほっとエコライフにつながる暖かい着方をするためには、学習したことをただたくさん取り入れるのではなく、より場面に適した着方になるように、それぞれのアイテムの長所や短所を考慮しながら、様々なアイテムを組み合わせていく必要があるということを感じられるようにして、本時の学習課題につないでいく。



【学習計画】

### ～行 動～ **学習活動2・3** 【冬のアイテムカード】

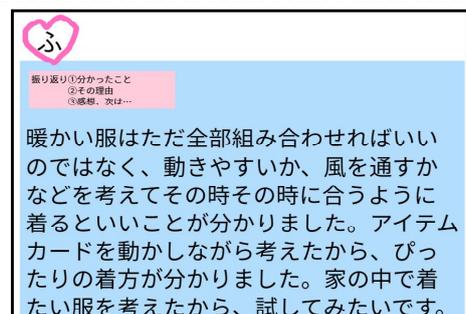
「晴れた日の昼に公園に行くとき」に適した服装の組合せを考える時間を設定する。その際、子供が場面をイメージしやすい公園の様子が見えるような写真を用意しておく。まず自分の学習支援アプリ上でアイテムカードを使って服装を考え、その後グループ交流を行うようにする。アイテムカードは身近なアイテム（ダウンジャケット、コート、手袋など）が20種類程度入るように教師が意図的に渡したカードで学習活動2を行うようにする。さらに、それぞれが持ち寄ったアイテムを、アイテムカードとして加えて構成された物を学習活動3で用いるようにする。それぞれのアイテムカードには、前時までに調べた、空気が多い、風を通さない、動きやすいの3観点の特徴を書き込むようにしておき、長所や短所が見えやすく、選んでいく際の参考になるようにしておく。自分で組合せを考えた後に、グループで、上半身、下半身にアイテムカードを分類して置いていきながら、外に出て体を動かすときの上着はどのような物がよいか、中に着る服は何を組み合わせるかなどを話し合う時間を設定する。天気は晴れ、気温は10℃、風が強い、など具体的に場面を絞った上で場面に合った服装を考えていく中で友達の多様な考えに触れ、生活経験の差などから自分の考えをもちにくい子供も、友達の考えから学び、自分の生活実践につながるようにしたい。さらにその後には、自分が持っている服をアイテムカードにした物を用いて、「自分の生活の中で着るとしたら」の視点で、自分の生活場面における服装を改善する時間も設定する。グループ活動と同様に、公園に行く想定で自分のアイテムカードを組み合わせる時間をとった後、個々に自分の考えたい場面を選択して着る服を考えていく。自分のアイテムカードにない物はグループ活動で使った共通のアイテムカードを用い、自分の生活により近付けて試行錯誤できるようにする。



【アイテムカードの例】

### ～振り返り～ **学習活動4**

振り返りの際に、「分かったこと」「その理由」という観点をもつことで、アイテムカードを使って場面に合うように多様な組み合わせを考えることよさに気付けるようにする。子供たちのそのような姿に対して「アイテムカードを使っているいろいろな着方を考えたから、それぞれの場面にぴったりの着方が見つかったね」「こんな風に、いろいろな着方の組み合わせを考えると、冬のどんな場面も快適に過ごせそうだね」などと称賛することで、方法を用いながら場面に合わせて着方を選ぶことよさを実感できるようにする。



【振り返りの例】